

4月23日
火遊びは絶対にしないでね
川湯防火管理協議会が子どもたちにプレゼント



川湯防火管理協議会(小泉裕会長)と川湯消防支署(菅江泰大支署長)では4月23日、川湯小学校1年生に消火器型の鉛筆削りと消しゴムのセットを、川湯保育園児に救急車のお話の紙芝居、消防車や火事の怖さのお話の絵本を贈りました。春の火災予防運動の一環で、子どもの火遊び防止が目的です。「ひあそびはしません」と書かれたポケットティッシュも配布し、火の用心を呼び掛けました。児童・園児は喜びの歓声を上げ「火遊びは絶対にしません」と全員で約束しました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

4月26日
観光客の安全と集客を祈願
観光協会が摩周湖安全祈願祭を開催



摩周湖観光協会(木暮敏男会長)では4月26日、摩周湖第1展望台で安全祈願祭を行いました。昨年11月から冬季通行止めとなっていた、道道屈斜路摩周湖畔線の同展望台から川湯までのルートが同日から開通するのに合わせて行ったもので、徳永町長や八幡町議会議長など関係者約30人が出席。観光客の安全と、本町に多くの観光客が訪れることを祈願しました。また、10時の開通を待っていたバスや自動車の観光客にパンフレットなどを手渡し、本町の観光PRを行いました。

4月25日
自分たちの町をきれいに
川湯地区の皆さんが清掃活動



川湯温泉第1・第2・第3・敷島町・川湯みどり・川湯駅前・跡佐登各自治会の皆さんが4月25日、川湯温泉市街地と川湯駅前地区の清掃を行いました。観光シーズンの幕開けを前に地域をきれいにしたいと、例年この時期に行っています。約260人が参加し、合計で軽トラック21台分、3,790キロのごみを集めました。

4月27日～5月6日
川湯の森を歩いてみよう！
エコミュージアムセンターのガイドウォーク



川湯エコミュージアムセンターでは、スタッフの解説を受けながら周辺の森を散策する無料のガイドウォークを随時開催しています。大型連休中は、町内外から訪れた家族連れなどが多数参加し、特殊な川湯の自然を満喫しました。アカエゾマツの森を歩いたり、倒木を見に行くなどのコースがありますが、一番人気は森の中で湧き出す温泉を見に行くプログラム。硫黄山の影響を受けている自然環境についての説明を聞きながら、地表から湧き出る源泉と湯の川を手で触ります。参加者の皆さんは、館内展示の見学に加え、実際に歩くことで、より一層理解を深めていました。

4月26日
放水技術の向上ときれいな街並みを目指して
川湯消防団川湯支署が道路で放水訓練



釧路北部消防事務組合川湯消防団(濱岡正次団長)と川湯消防支署(菅江泰大支署長)では4月26日、放水訓練を行いました。職団員の放水技術の向上と、行楽シーズンを迎え観光客にきれいな街並みを見てもらいたいと、温泉街の道路清掃を兼ねて毎年行っていて、今年は28人が参加。3月の国民栄誉賞受賞を機に命名された、故納谷幸喜氏の実家前の大鵬通りを中心に、雪解け後の道路脇にたまった土や枯れ葉、ほこりなどをホースを巧みに操り洗い流しました。職団員は訓練を通して、川湯温泉街の「火の用心」と防災の誓いを新たにしています。

優秀な牛を表彰

第10回イースタンスプリングショウ



入賞牛を囲んで

- 上位入賞牛は次のとおりです。
- ▼ジュニアチャンピオン／ファイン デール ダミー RX タイソン (標茶町・渋谷健史郎さん)
- ▼R・ジュニアチャンピオン／プラ イトランド ロイ ルーシー E T(弟子屈町・坪井泰憲さん)
- ▼シニアチャンピオン／リラファーム GW パフューム ET(標茶町・熊谷牧人さん)
- ▼R・シニアチャンピオン／インレット グリーン フラワー(弟子屈町・江上和彦さん)

町の酪農家16戸から60頭の優れた牛たちが集まり、終始、和やかな雰囲気の中、行われました。今回、審査員として招いたのは、初の外国人審査員カール・ソーシエ氏。大会には、弟子屈・標茶両屈町家畜共進会場で開催されました。優秀な牛を表彰する本大会。当初4月28日に行われる予定でしたが、季節はずれの吹雪のため、30日に延期されました。今回、審査員として招いたのは、初の外国人審査員カール・ソーシエ氏。大会には、弟子屈・標茶両屈町家畜共進会場で開催されました。優秀な牛を表彰する本大会。当初4月28日に行われる予定でしたが、季節はずれの吹雪のため、30日に延期されました。



町の話

町の話

チャンピオン牛に期待

姉妹都市・鹿児島県日置市から繁殖用肉牛導入



見事な姿を披露した「かねはる」

本町の姉妹都市である鹿児島県日置市から贈られた繁殖用肉牛の引き渡し式が4月30日、町家畜共進会場で行われました。贈られたのは、雌牛の「かねはる」。昨年の鹿児島県畜産共進会でグランドチャンピオンに輝いた肉牛(和牛)です。生産農家の久保吾郎さんと宮路高日光置市長の厚意で導入が実現しました。優良血統の導入で、今後の肉牛生産の振興に期待がかかります。町と氏はこれまで、畜産業で交流してきました。2年前には同市から、優良肉牛用の受精卵を購入、町市に乳牛を送っています。今後はかねはるから採卵を行い、受精卵を弟子屈町肉牛振興会(会長 光榮志田)が育てる母牛に受胎させ、優良牛の繁殖を目指します。

5月19日
**手遊び歌などで楽しいひととき
 ケア・サポートまつやまで「こどもの日会」**



高齢者向け住宅ケア・サポートまつやま(川湯温泉1)で5月19日「こどもの日会」が行われました。
 会では、同施設で働くスタッフの子どもたちなどで結成する「バンビーズクラブ」の皆さんが「こいのぼり」「アブラハムの子」ほか3曲の手遊び歌などを披露。入居者の皆さんと触れ合いながら、楽しいひとときを過ごしました。

5月16日
**子どものうちから人権思想を身に付けて
 美留和小学校で人権教室開催**



釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が5月16日、美留和小学校(梅津和広校長)で開催されました。
 道徳教育に力を入れている同校が同協議会に依頼したもので、同校では初めての開催。講師に北海道子どもの人権専門委員の石川征支朗さん、弟子屈町人権擁護委員の朝日英明さん、小澤修子さん、小泉裕さんを迎えました。
 教材には、同協議会が作製した「人権かるた」を活用。児童はかるた取りを楽しみながら、優しい心や思いやりの心の大切さを学びました。

5月24日
**国立公園保全に一層の連携を
 弟子屈警察署で自然環境保全検討会を開催**



弟子屈・標茶自然環境保全検討会が5月24日、弟子屈警察署(小林順也署長)で行われました。
 同署管内には阿寒・釧路湿原の2つの国立公園を有することから、関係機関との連携を図り、環境保全を警察として支援したいと初めて開催されたもの。役場や環境省など、弟子屈・標茶両町の環境関連機関から20人が出席しました。これまで同署で取り扱った自然環境事案について説明があったほか、不法投棄防止などについて意見交換も行われました。今後も自然環境保全に向けて、情報の共有を図っていきます。

5月23日
**ふるさとの良さを再認識
 春のツアーで名木を観賞**



町が指定した名木を巡るツアーが、5月23日に開催されました。
 名木は、地域の象徴とされているものや歴史的価値があるもの、景勝上優れているものなどを2006年に指定。ツアーは2007年から春と秋の年2回開催され、春は桜を中心に行われています。今回は根釧西部森林管理署との共催で、釧路市などから28人が参加。名木の選考委員長を務めた須田文男さんの説明を聞きながら見学しました。今年は例年になく寒さが続き、桜の開花はまだでしたが、名木の見事な姿に見入っていました。

5月25日
**火山の力強さを感じよう
 小・中学生向け体験活動「もりのパレット探検隊」**



町内の小・中学生を対象とした自然体験活動「もりのパレット探検隊」(川湯エコミュージアムセンター主催)が今年度も始まりました。
 今年度のテーマは「火山と歩く旅」。景色が移り変わる様子や、噴煙を上げる活火山を見るなど、地域の自然を3回に分けて体感します。5月25日に行われた第1回目には、小学生16人が参加。つつじヶ原自然探勝路を通して硫黄山を経由し、青葉のトンネルを抜け、JR川湯温泉駅までの約5キロを歩きました。硫黄山では噴煙を浴びながら噴気孔の温度を測り、火山の力強さを観察。川湯温泉街に戻り、足湯に浸かりながら火山の恵みを満喫しました。

5月25日
**美しい民族文化に触れる
 台湾新世紀文化芸術団との交流会**



台湾新世紀文化芸術団交流会IN弟子屈2013(訪日観光客誘致実行委員会主催)が5月25日、川湯観光ホテルラピュタホールで開催されました。
 親日家が多く、北海道へ旅行する方も多いことで知られる台湾の方と親睦を深め、さらなる観光客誘致に役立てることが目的です。台湾の14民族の伝統文化を伝える台湾新世紀文化芸術団の皆さんが民族舞踊や踊りを、本町からは川湯ばやし保存会、聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部、屈斜路古丹アイヌ文化保存会の皆さんがそれぞれ伝統文化を披露し、交流しました。

5月1日~
**多彩な展示を見てもみませんか
 道の駅摩周温泉で3つの企画展を開催中**



道の駅「摩周温泉」では、館内でさまざまな企画展を行っています。
 5月1日から、1階ギャラリーで押し花さーくる野の花の皆さんによる押し花作品展が、1階イベントコーナーでは田澤淳子さんの写真展「言葉は風の中に…」、2階では、香月さん、水月さん、寿月さん、正さんによる水墨画展が行われています。いずれも6月30日(日)まで開催されていますので、一度足を運んでみませんか。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

5月10日
**林業生産と後継者育成指導に期待
 石川悟さんを北海道指導林家に認定**



石川悟さん(75歳・仁多)が北海道指導林家に認定されました。認定証交付式は5月10日、役場で行われ、釧路総合振興局の苗加由治森林室長から石川さんに認定証が手渡されました。
 指導林家とは、地域の模範となる林業生産を行うとともに、後継者育成の指導に積極的にあたれる方を道知事が認定する制度。今年度は道内25人、釧路管内で3人が認定され、全道での指導林家は288人となっています。石川さんは所有する森林を適切に管理し、2010年度の町産業功労賞(林業の部)を受賞しているほか、1994年から森林組合の理事を務め、組合員からの人望も厚いなどとして、今回の認定となりました。

5月7日
**観光客が多く訪れる場所をきれいに
 弟子屈町4Hクラブが町道でゴミ拾い**



農業青年で組織する弟子屈町4Hクラブ(吉田雄貴会長)の皆さんが5月7日、900草原に続く町道(鉛別平和線)のゴミ拾いを行いました。
 例年、この時期に行っています。当日は小雪が降る中、震えながらの作業となりました。ゴールデンウィークは天候不良だったため、例年より観光客が少なかったのか、ごみも例年に比べて少なめ。それでも1時間半ほどかけて、空き缶やペットボトルを中心に約10キロのごみを拾いました。

5月12日
**消防使命をあらためて胸に
 釧路北部消防事務組合が創設40周年**



釧路北部消防事務組合(組合長・徳永町長)創設40周年記念式典が5月12日、摩周観光文化センターで開催されました。
 式典には、消防職団員など関係者約200人が出席。観閲式に引き続き、物故者への黙祷や組合活動に対し貢献のあった方への感謝状贈呈などが行われました。
 同組合は、1973年4月1日に弟子屈・標茶の二町で創設。2005年に鶴居村が加わり、現在の構成となりました。40周年の節目に職団員は、消防使命への理解を深め、防火意識を新たにしました。

5月11日
**スタンプカード作りなども楽しむ
 おはなしはらっぱスペシャルを開催**



毎週土曜日に行われている読み聞かせの会「おはなしはらっぱ」のスペシャル版が5月11日、図書館で開催されました。
 4月23日~5月12日のこども読書週間に合わせて、毎年この時期に行われています。絵本の会「おはなしはらっぱ(笹島久美代表)」の皆さんによる大型絵本などの読み聞かせのほか、翌日の母の日に向けてのスタンプカード作りも行われ、集まった親子連れなどが楽しみました。